

標準塗装仕様書



仕 様 区 分	スズカファイン標準仕様
仕 上 が り	平滑／つや消し

仕 様 名 : ビーズコートSi／カチオンシーラーEPO 仕上げ
適 用 範 囲 : 一般建築物 [外壁][内壁] など
適 用 下 地 : セメント系素地 [コンクリート・モルタル・PCパネル・スレート・窯業系サイディングボード] など
適用既存塗膜 : 新設 および 改修 [EPの活膜・アクリルリシン・吹付タイルなどの塗替] ※単層弾性・弾性タイル・高弾性タイルは不可

使用材料	荷 姿	規格・品種等
カチオンシーラーEPO	14kg	水性1液ナノ・カチオン系エポキシ変性アクリル系 透明シーラー
ビーズコートSi	16kg	<超撥水><ラジカル制御形> 水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂系つや消し塗料
以下余白		

工 程		材料名 (希釈剤)	調 合 重量比	標準塗付量 (kg/㎡)	塗 回数	間隔時間 (23℃)	塗装方法
下 地 処 理 ・ 調 整	<新設> ●素地は十分に乾燥させる。(コンクリート・モルタルは含水率10%以下、pH10以下、表面強度0.5N/mm²以上) ●汚れ・塵埃・エフロレッセンス・レイタンス・未硬化セメント粉・油脂類などをワイヤーブラシ・研磨紙などで除去し、必要に応じて水洗いする。 ●型枠離型剤が表面に付着している場合はシンナーで拭き取る。 ●素地の巣穴・不陸・目違いなどは、予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材にて補修する。 <塗替> ●既存塗膜の浮き・ふくれ・はがれなどの脆弱部を、スクレーパー・ディスクサンダー・ワイヤーブラシなどで除去する。 ●下地のひび割れ・欠損などは、事前に補修する。 ●チョーキング・汚れ・塵埃・油脂類などの汚染付着物を高圧水洗で除去する。 ●下地は十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。						
	①	下塗	カチオンシーラーEPO (清水)	100 無希釈	0.07 ~ 0.17	1	工程間2h以上
②	上塗	ビーズコートSi (清水)	100 5～15	0.24 ~ 0.40	2	工程内2h以上 最終養生24h以上	刷毛・ウールローラー・エアレス
③	以下余白						
④							
⑤							
⑥							
⑦							
工 法 ・ 備 考	●下塗りには、サミブラホワイト、リメイクシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPO、ワイドシーラーEPOなども使用できます。 ●吸い込みが著しい面などは、ラフトンエポキシシーラーをご使用ください。 ●単層弾性・弾性タイルの塗り替えに使用する場合は、下塗りに、リメイクブラを使用してください。(高弾性タイルには使用できません。) ●木部の場合は、ドライキットで素地調整してください。 ●取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。 ●塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。 ●外部塗装での赤・黄色系の使用は、他の色に比べ保色性が劣りますので、留意してください。						
	●既存塗膜が強溶剤2液形ふっ素樹脂系及びシリコン樹脂系・無機系・光触媒塗装などの場合は、十分な付着が得られない場合がありますので、予め試験塗装を行い付着性を確認してください。 ●シーリング材への塗装は、塗膜の硬化不良・割れ・剥がれ・汚染の恐れがある為、原則不可。やむをえない場合は、シーリング材の硬化を確認の上、ラフトン逆プライマーの塗装を推奨します(詳細はカタログ参照)。 ※下塗がワイドシーラーEPOの場合は、必ず逆プライマーを使用してください。 ●別紙「施工上の注意事項」「取り扱い上の注意事項」をご参照ください。 ●上記の標準塗付量(または所要量・使用量)には、希釈剤(清水・希釈シンナー)は含みません。 ●気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けてください。強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は、塗装を避けてください。						

※上記の各数値は標準値です。被塗物の形状・施工方法・気象条件・塗料の色等により増減する事があります。
※商品の詳細、注意事項につきましては、カタログ・製品容器・安全データシート(SDS)をご参照ください。
※本仕様書記載外の下地や仕様の場合、塗膜欠陥を生じる場合がありますので、お問合せください。
※本仕様書記載の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

仕様書No.
MSF87490-CP
更新 2020年4月1日